

経済学史学会第69回大会プログラム
大阪産業大学(2005年5月28日-29日)

第1日目 5月28日(土)

自由論題(報告30分、コメント7分、リジョインダー3分、自由討論20分、会場移動5分)

時刻		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:45		開会挨拶(主催校[高増明会員])			
9:55	論題	ロックの救済法と経済認識	シジウィック『経済学原理』におけるサイエンスとアートの考察:『倫理学原理』、『政治学要論』および『哲学の領域と諸関係』との関連から	ヴィルヘルム・ロッシヤールと歴史学との関係を注目する意義について	マルクスを再読する
10:55	報告者 討論者 司会者	門庭樹子(京都大学大学院) 徳原久(関西学院大学) 生越利昭(兵庫県立大学)	中井大介(大阪大学大学院) 深貝保則(京都府立大学) 西沢保一(一橋大学)	丸岡高司(名古屋大学大学院) 池田幸弘(慶応大学) 田村信一(北星学園大学)	的場昭弘(神奈川大学) 植村邦彦(関西大学) 赤間道夫(愛媛大学)
11:00	論題	アブラハム・タッカーの道徳哲学	J. N. ケインズにおける経済学の領域問題	ヘーゲルの身分論	アメリカにおける労働貨幣論の一展開:ロバート・オウエンとジョサイア・ワレン
12:00	報告者 討論者 司会者	大村照夫(名古屋学院大学) 天羽康夫(高知大学) 田中秀夫(京都大学)	成田泰子(北海道大学大学院) 上宮正一郎(神戸大学) 橋本昭一(関西大学)	高柳良治(國學院大学) 内田弘(専修大学) 植村邦彦(関西大学)	結城剛志(東京大学大学院) 出雲雅志(神奈川大学) 伊藤誠(國學院大学)
12:00	昼食・休憩				
13:00	総会				
14:00					
14:05	論題	『国富論』の基本命題	ピグーにおける正義:ミルの功利主義体系における内在的正義を手掛かりに	初期マックス・ウェーバーのドイツ農業労働者論	J. R. コモンズの「取引」経済学
15:05	報告者 討論者 司会者	星野彰男(関東学院大学) 新村聡(岡山大学) 大森都夫(早稲田大学)	山崎竜(日本学術振興会特別研究員) 本郷亮(弘前学院大学) 菅無道宏(中央大学)	肥前栄一(東京大学名誉教授) 田村信一(北星学園大学) 原田哲史(四日市大学)	高橋真悟(京都大学大学院) 佐藤方直(嘉悦大学非常勤) 高智男(九州産業大学)
15:10	論題	スミス経済成長論とリカードウ	R. F. ハロッドの利子観について	1920年代ロシアの自由主義経済学と農業問題	J.R.コモンズの雇用関係論:『産業上の有益な関係』を中心として
16:10	報告者 討論者 司会者	水田健(東日本国際大学) 堂目卓生(大阪大学) 渡会勝義(早稲田大学)	伊藤正哉(中央大学大学院) 篠崎敏雄(岡山商科大学) 池尾愛子(早稲田大学)	小島修一(甲南大学) 森岡真史(立命館大学) 八木紀一郎(京都大学)	加藤健(京都府立大学大学院) 高智男(九州産業大学) 山田鋭夫(名古屋大学)
16:15	論題	古典派価値論の比較検討		企業家的競争の様式とその帰結について	ワルラスの経済社会システム:市場・国家・アンシアシオンのリンク
17:15	報告者 討論者 司会者	福田達治(弘前大学) 千賀重義(横浜国立大学) 尾波尚彦(宮城大学)		吉田昌幸(北海道大学大学院) 西岡幹雄(同志社大学) 服部正治(立教大学)	高橋聡(中央大学非常勤) 御崎加代子(滋賀大学) 栗田啓子(東京女子大学)
懇親会					

第2日目 5月20日(日)

午前:自由論議(報告30分、コメント7分、リジョインダー3分、自由討論20分、会場移動5分)

時刻		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:55	論題	ヒュームとスミスにおける経済発展と不平等	「安定化」とその批判: 1920年代貨幣景気循環論発展史の側面	ミーゼスの行為論	経済理論と言語論的問題
	報告者	新村聡(岡山大学)	若田部昌澄(早稲田大学)	伊藤理裕(国士館大学大学院)	山本泰三(京都大学大学院)
	討論者	竹本洋(関西学院大学)	小基敏(新潟産業大学)	尾近裕幸(福山学院大学)	江頭進(小樽商科大学)
10:55	司会者	石井信之(青山学院大学)	熊谷次郎(桃山学院大学)	池田幸弘(慶応大学)	中山智香子(東京外国語大学)
11:00	論題	アダム・スミスの制度主義理論	ルーカスと内生的成長理論	F.A.ハイエクの主観主義: G. L. S. シャックルとの対比から	共通善への自由: トマス・アクィナスにおける自然法の射程
	報告者	田島慶吾(静岡大学)	山崎好裕(福岡大学)	吉野裕介(京都大学大学院)	佐々木亘(鹿児島純心女子短大)
	討論者	星野彰男(関東学院大学)	浅田統一郎(中央大学)	中村秀一(千葉経済大学)	有江大介(横浜国立大学)
12:00	司会者	関原太郎(九州大学)	深員保則(東京都立大学)	堀茂樹(京都産業大学)	只原親和(横浜市立大学)
12:00	昼食・休憩				
13:00					

午後:フォーラム

13:00	テーマ	Intercultural Perspectives on Economic Thought	初期啓蒙と経済思想	経済学史は経済政策研究の役に立つのか
	組織者	Kiichiro Yagi (Kyoto University) Masanori Komuro (Keio University). Tetsushi Harada (Yokkaichi University)	田中秀夫(京都大学)	田中秀臣(上武大学)・中村宗悦(大東文化大学)
	司会・報告者	Chair: Tetsushi Harada Opening Address (with an Introduction) : Tetsushi Harada Main Speaker: Bertam Schefold (University of Frankfurt) "Asian Classics in Western Collection of Classics of Economic Thought" Coffee Break Counterpart: Kiichiro Yagi "Globalization and Vernacularization in Economic Thought" Masanori Komuro "Japanese Enlightenment and the Confucian Thought in the Case of Fukuzawa Yukichi"	はじめに: 田中秀夫「近世経済認識の生成と啓蒙のモメント」 報告1. 大倉正雄(拓殖大学)「初期啓蒙とベティの経済科学」 報告2. 伊藤誠一郎(大月短大)「レトリックを超えて—修辞学と政治算術」 報告3. 生越利昭(兵庫県立大学)「ロックからハチスンまでの経済認識と啓蒙思想」 報告4. 藤里竜(関西大学)「ヒューム経済思想と富国の衰退」 休憩 特定討論: 報告1, 2)に対して渡辺恵一(京都学園大学) 報告3, 4)に対して森直人(京都大学・学振特別研究員)	司会者: 浅田統一郎(中央大学) 報告1. 若田部昌澄(早稲田大学)「経済危機の歴史政治経済学」 報告2. 中村宗悦「19世紀停滞の経済学: 日本のエコノミストの立場」 報告3. 野口旭(専修大学)「マクロ経済政策形成における既得概念の役割」 報告4. 田中秀臣「戦争の経済学: 歴史政策学的視点から」 報告5. 松尾匡(久留米大学)「マルクス経済学は今日の政策課題に答えられるか」 コメンテーター: 藤井賢治(青山学院大学)・橋本努(北海道大学)・山崎好裕(福岡大学)
	コメンテーター	Commentators: Chikako Nakayama (Tokyo University of Foreign Studies) Tamotsu Nishizawa (Hitotsubashi University) Tetsushi Harada General Discussion Bertam Schefold: Summing Up Chair's Summing Up	全体討論 おわりに 篠原久(関西学院大学) 「経済学はいかなるコンテキストで、いかなる科学として誕生したか—一つの予想」	総括発言: 田中秀臣・中村宗悦 「プラクティカルな経済学史とはなにか: 杉本栄一ら先駆者の業績を踏まえて」
17:00	閉会の辞(千賀重義代表幹事)			